

授業科目 保健医療福祉連携学Ⅰ(医療現場)

【担当教員名】 渡辺 時生 他	対象学年	3	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健康・スポーツ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】
 医療の高度化に伴い、医療現場では多職種間の連携なしには効果的な援助は出来ない状況にあるといえる。本講義では医療現場において行われる様々な連携のあり方について、多職種の専門性をふまえながらその実態と必要性について理解する。
 (1) 医療現場における各専門職の役割について知る
 (2) 医療現場における連携の必要性を理解する
 (3) 医療現場で行われている連携の実際を知る。

【学習目標・行動目標：SBO】
 1. 医療における各専門職の役割について列挙する
 2. 医療現場における連携の必要性について説明する。
 3. 医療現場における多職種連携の実際について述べる。
 4. グループワークを通して、それぞれが学んでいる専門分野の立場から意見を述べる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	【オリエンテーション】医療現場における多職種間の連携の必要性とその実際	1, 2	渡辺時生 (言語聴覚学科)
2	【講義】医療現場における各専門職の連携の実際	1, 2, 3	外部講師
3	【グループワーク】事例検討 第1回	1, 2, 3, 4	担当教員 および ファシリテータ教員
4	【グループワーク】事例検討 第2回	1, 2, 3, 4	担当教員 および ファシリテータ教員
5	【グループワーク】事例検討 第3回	1, 2, 3, 4	担当教員 および ファシリテータ教員
6	【グループワーク】事例検討・発表 第1回	1, 2, 3, 4	担当教員 および ファシリテータ教員
7	【グループワーク】事例検討・発表 第2回	1, 2, 3, 4	担当教員 および ファシリテータ教員
8	【グループワーク】事例検討・発表 第3回 および【リフレクション】	1, 2, 3, 4	担当教員 および ファシリテータ教員

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	その都度提示			

<p>【評価方法】 出席と課題提出で評価を行う。 課題は、初回、第2回および第8回の計3回提出を求める。 1. 講義・演習を欠席するごとに20点減点、レポート未提出ごとに30点減点 2. その他、グループワークへの参加態度も評価対象とする</p>	<p>【履修上の留意点】 ・授業は講義とグループワークを実施する。 ・出席点の評価は、学生証をかざらず出席システムを利用し行うため、毎回必ず学生証を持参すること。 ・止むを得ずに授業を欠席する場合でも、レポートは必ず提出すること。そのため、特に初回オリエンテーションは欠席することのないように努めること。万一初回欠席した場合、自己責任で配布資料を入手してオリエンテーション内容を熟知しておくこと。 ・グループワークは、医療の現場における事例への適切な対応について、連携を中心にすえた話しあいにより時間内にグループ検討・発表を行うものである。受講者約160名が5～6名程度づつ約30グループを形成する。</p>
---	--